

第4章

周年事業／国際シンポジウムの開催



樹木に関する技術者の集まりである街路樹診断協会にとって、診断技術の能力向上や最先端技術の導入、新規技術開発は欠かせません。そのため、研修会や講習会を本部（各委員会）ならびに支部主催でたびたび開催してきました。

なかでも、街路樹診断協会創立後の周年記念の際には、大規模な講習の機会と診断の普及を図る目的で、海外から講師を招き国際シンポジウムを開催しました。国際シンポジウムには多くのステークホルダーを招き、少なからず日本の樹木管理のあり方に影響を及ぼしてきたと言えるでしょう。当協会にとってエポックメイキングな取り組みで、とても重要で大規模なイベントとなっています。

過去に開催した4回の周年事業・国際シンポジウムの概要を記しておきます。

*記載している所属や役職名はいずれも当時のものです。

第4章 周年事業／国際シンポジウムの開催

4-01 協会設立5周年記念事業「マテック博士講演会」の開催…………… 51

4-02 協会設立10周年記念事業
「世界の樹木管理とリスクマネジメント」の開催…………… 52

4-03 法人化記念式典「ボンド博士講演会」の開催…………… 53

4-04 協会設立20周年記念事業
「世界のアーバンフォレスト政策と樹木のマネジメント」の開催 …… 54

協会設立5周年記念事業

「マテック博士講演会」の開催

2003年に設立5周年記念事業として、「樹木からのメッセージに耳を傾けよう」と題して、VTA診断（倒木危険度診断）手法を考案したドイツ・カールスルーエ研究所のマテック博士を招いて講演会を開催しました。5月27日に東京ビッグサイト国際会議場、5月29日にプリムローズ大阪の2会場で開催し、東京会場では800名強、大阪会場では350名近くの参加者があり、大盛況なイベントとなりました。

マテック博士に同行して、診断機器レジのメーカーであるドイツのIML社代表であるエリック・フンガー氏も来日され、両氏から講演だけでなく、街路樹診断協会員を対象に、東京の有栖川宮記念公園と京都の西本願寺の庭園にて、VTA診断の実演と指導をしていただきました。街路樹診断のベースとなるVTA

診断の開発者から直接指導を受ける機会を得た意義は大きいものでした。

講演内容は樹木の倒木危険性や安全性について力学的視点からお話いただきましたが、この際に幹折れ倒木の兆候だけでなく、樹高と幹の太さの関係、枝の長さとの太さの関係、キノコの発達状態による腐朽割合の推測など、多くの実用的な診断手法を教わりました。現在の診断手法が確立されるに至るうえで、このシンポジウムの開催は大きな役割を果たし、日本の街路樹診断技術の前進に大きな足跡を残しました。

マテック博士の講演を皮切りに、樹木管理者の間で街路樹診断の認知が飛躍的に高まり、診断の普及に大きく寄与する講演会となりました。

樹木管理の新技术「樹木の健康診断」東京・大阪講演会のお知らせ

樹木からのメッセージに耳を傾けよう

樹木管理の新しい手法VTA診断を考案したドイツのマテック博士を招いて、樹木の倒木危険性や安全性について力学的視点から講演。

■主催：街路樹診断協会
 ■東京講演：平成15年5月27日(火)
 受付：9:15～9:30 定員：1000名
 講演：10:00～16:00
 場所：東京ビッグサイト会議棟7F、副都心会議棟（江東区有明3-21）
 講演内容：「VTA診断とVTAでの事例」「日本での取り組み事例紹介」
 ※マテック博士とのQ&Aを交えて
 ※懇親会あり（別途追加料金）

■大阪講演：平成15年5月29日(木)
 受付：12:00～12:15 定員：300名
 講演：13:00～17:00
 場所：プリムローズ大阪（中央區大津町 3-1-43）
 講演内容：「VTA診断とVTAでの事例」「教えてマテック」
 ※マテック博士とのQ&A
 ※講演会参加費用会場とも：3000円

■申し込み方法：この案内書の右側申込券A4でコピーし、FAXで事務局までお送りください。
 ※主催の都合上、お一人様1枚につきお申し込みの人数は、当日受付にて変更いたします。お申し込みの人数は、お申し込みの人数に限りません。お申し込みの人数は、お申し込みの人数に限りません。

■マテック博士講演会申込書

街路樹診断協会 行き

宛先 FAX: 03-3454-5520

〒108-0072 東京都港区三田 4-7-27
 TEL & FAX: 03-3454-5520
 ホームページ: <http://www.gtdh.com/>

※事務局は平日、受付に大変遅く大変です。

以下のお事につけてお読みください。
 ◆5月27日：東京講演にお申し込みの方
 ◆5月29日：大阪講演にお申し込みの方

お名前
 団体名
 住所
 電話番号
 連絡先
 氏名
 電話番号
 FAX番号

[樹木からのメッセージに耳を傾けよう]パンフレット

「世界の樹木管理とリスクマネジメント」の開催

設立10周年記念事業として、2008年6月25日に東京の日比谷公会堂で、6月27日にクレオ大阪西ホールで国際シンポジウムを開催しました。アメリカからバートレット樹木調査研究所のトーマス・スマイリー博士、ドイツのカールスルーエ研究所の樹木と法律に関する専門家オリバー・ウィテック氏、中国から北京園林科学研究所のハン・リーリー氏を招き、各国の街路樹管理にまつわる話や倒木事故に関する裁判事例などを紹介いただきました。日本からは千葉大学の藤井英二郎教授、細野哲夫博士、そして街路樹診断協会の神庭正則会長が登壇してのシンポジウムとなりました。

スマイリー博士からは、根系切断の影響や樹木の傾きの変化を捉える重要性、倒木や落枝を起こさない剪定のあり方など、街路樹管理にまつわる多くの示唆をいただきました。とりわけ講演の合間をぬって開催された協会員対象の実地研修会で、根株診断手法を確立するうえでのアドバイスをいただきとても参考になりました。

ウィテック氏からはドイツ裁判所の判決で、VTA診断に基づく判定が判決に大きく関与している事例が紹介され、ハン氏からは北京オリンピックによる都市整備と将来の維持管理のあり方が紹介され、いずれも日本の街路樹管理に生かせる内容が多くありました。

「樹木の健康診断」マテック博士の東京講演から5年、VTA (Visual Tree Assessment) 診断を利用した樹木診断が広く知られるようになりました。しかしながら、予期せぬ倒木事故等により海外だけでなく日本国内においても訴訟が発生しています。

今回の国際シンポジウム in 東京は、人と樹木が共生していく場合に潜む「リスク」とその「マネジメント」を正しく認識することにより「人と樹木の未来」に向け、さらなる歩みを進めるための第一歩と位置づけて開催いたします。

国際シンポジウム in 東京

世界の樹木管理とリスクマネジメント
— 都市における樹木との共生 —

■ 日程 2008年6月25日(水) 10:00~17:00 (受付9:30より)

■ 会場 日比谷公会堂
東京都千代田区日比谷公園1-3
東京メトロ「日比谷駅」A14出口より徒歩約3分
「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩約5分
都営地下鉄「有楽町線」A7出口より徒歩約2分
JR「有楽町線」「新橋線」徒歩約15分

■ 参加費 無料 (講演要旨集 別売 2,000円)

■ 定員 2,000名

■ 申込方法 申し込み期限: 6月20日(金)まで
申し込み用紙にご記入の上、FAXでお申し込み下さい。当日入場も可能です。
FAX 03-3454-5520
街路樹診断協会
事務局 担当 大島 (連絡先 TEL 03-3454-5520)
http://www.gaihsin.com/

主催 街路樹診断協会
協賛 (財)日本緑化センター
日本樹木医会
後援 NPO法人 自然環境増進協会 樹木医学会 (社)東京都造園緑化業協会
(社)道路緑化保全協会 (社)日本緑化協会 日本森林学会
(社)日本造園業協会 (社)日本造園建設業協会 日本緑化工業会
(社)ランドスケープコンサルタンツ協会 ほか

2008.5.14現在 (五十音順)

プログラム 2008年6月25日(水) 司会進行: 松田 輝雄

10:00~10:15 <開会挨拶>
10:15~10:35 <講演>日本の街路樹について
神庭 正則 (街路樹診断協会 技術委員長 樹木医)
10:35~10:55 <講演>沿道樹木の事故裁判事例
細野 哲夫 (千葉大学大学院造園学研究所 博士(研究員))
11:00~12:30 <基調講演>樹木による事故事例と法律判断(Ⅱ)
オリバー・ウィテック (ドイツ・カールスルーエ研究所 研究員)
12:30~13:00 <基調講演>北京五輪における都市緑化の取り組み
ハン・リーリー (韓 麗莉) (中国 北京園林科学研究所 設計所長)
13:45~15:15 <基調講演>樹木のリスクマネージメントについて
トーマス・スマイリー (アメリカ・バートレット樹木調査研究所 研究員)
15:30~16:50 <パネルディスカッション> (80分)
コーディネーター: 藤井 英二郎 (千葉大学大学院造園学研究所 教授)
パネリスト: オリバー・ウィテック、トーマス・スマイリー、
神庭 正則、細野 哲夫
16:50~17:00 <閉会挨拶・宣言>
17:00 <閉会>

※内容については主催者の都合により変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

海外講演者プロフィール

オリバー・ウィテック (Oliver Wittek)
ドイツ・カールスルーエ研究所センター所属
ヨーロッパでは樹木の倒木などによる事故に対する法律の整備が進んでいる。樹木による事故に対する判決事例に詳しく樹木と法律に関する専門家。

トーマス・スマイリー (E. Thomas Smiley, Ph. D.)
アメリカ・バートレット樹木調査研究所所属
樹木治療や管理に多角的に取り組み、今まで100を超える論文や記事を書いており、リスクマネジメントの専門家でもある。

ハン・リーリー (Han Lili 韓麗莉)
中国 北京園林科学研究所 所属
オリンピック施設の屋上緑化や北京オリンピックにかかわる緑化に多く携わる。北京市の街路樹指針の作成にかかわったメンバーの一人。

国内講演者プロフィール

藤井 英二郎 千葉大学 樹木医 大学院造園学研究所 教授
神庭 正則 街路樹診断協会 技術委員長
細野 哲夫 千葉大学 大学院造園学研究所 博士(研究員)

司会進行プロフィール
松田 輝雄 樹木医 元NHKディレクター 東京農業大学客員教授

「世界の樹木管理とリスクマネジメント」パンフレット

「ボンド博士講演会」の開催

2009年11月に一般社団法人化した設立記念式典で、アメリカのISAからボンド博士を招き、「アメリカの樹木管理や計画における技術的な最新情報」と題して講演会を開催しました。東京での式典の後、仙台市でも講演会を開催し、定禅寺通のケヤキ並木で現地研修会を行いました。

ボンド博士からは米国における樹木のリスクアセスメントの意義と位置付けや手法に関

する講演をしていただきました。印象的な話は、緑の効用を生態系サービスとして解析するためのプログラム i-Tree Streets がこの時すでに報告された点です。i-Tree は樹木がもたらすベネフィットを、費用対効果で示すなど定量的評価が可能な画期的なプログラムとして、現在では日本でも知られるところですが、日本の多くの専門家に知られる10年も前に、いち早く協会員が知るところとなりました。

都市樹木の、リスクマネジメントと経済価値の情報管理

一般社団法人 街路樹診断協会 Urban Tree Diagnosis Association, Japan (UTDA) General Incorporated Association (GIA)

一般社団法人設立記念 ボンド博士講演会

日時：2009年11月20日（金）午後1時から4時45分
会場：目黒雅叙園『飛鳥』の間
会費：無料 日し、定員250名のため、お早めにお申し込みください
内容：一般社団法人 街路樹診断協会 設立記念式典
講演者：都市森林学者：ジェリー・ボンド博士講演会
講演内容：「アメリカの樹木管理や計画における、技術的な最新情報」

一般社団法人設立記念パーティ

日時：2009年11月20日（金）午後5時から7時
会場：目黒雅叙園『孔雀』の間
会費：5000円

都市樹木のマネジメントをめざす街路樹診断協会は、一般社団法人になりました。
 数人の樹木専門家から始まった街路樹診断研究会は、平成10年（1998年）に街路樹診断協会を立ち上げ、東京で活動を開始しました。街路樹診断協会の目的は、VTA（ビジュアル・ツリー・アセスメント）手法を用いて、樹木や樹木の危険がある樹木を事前に発見し、適切な処置を施し、安全安心な道路環境を確保することです。街路樹診断協会では、これまで研究と実務を継続し、実績を蓄積しながら診断領域に加入するなど、さらなる信頼を高めてまいりました。その後、樹木事故が多発するなど、その技術の社会的ニーズが高まり、関東支部、大阪支部、九州支部と全国に支部を置く組織に発展し、技術も全面的に普及してきました。このたび、一般社団法人街路樹診断協会が設立される運びとなり、会員一丸、喜びと責任を共に担うことになりました。我々は、これまでも増して、協会活動を通じ、街路樹など都市樹木（Urban Tree）の生育する道路や公園などの安全な通行を確保し、健全な都市樹木の育成に専念してまいります。

しかし、診断技術の普及とともに、経験の浅い技術者による誤診断などの懸念が抱懐されるようになったため、本年度より、会員の診断技術の高水準を維持するように「街路樹診断士」の資格認定を開始いたしました。これまで、街路樹診断協会では、技術の向上と普及啓発のため、多数の技術書籍の出版や、日韓の各種研修会の他、2003年ドイツの「マラク」博士講演会や、2008年アメリカのスマイリー氏、ドイツのワイテック氏、中国の10ん氏らによる「樹木のリスクマネジメント国際シンポジウム」など、一歩前進も可能な国際的で全体的な大規模な研修会を開催してまいりました。

このたびは、法人設立を記念して、アメリカより都市森林学者：ジェリー・ボンド博士をお呼びし、講演をして頂くことになりました。是非、皆様もご参加ください。

●ジェリー・ボンド博士 Jerry Bond：博士は、アメリカ北部の森林の調査と管理に長年従事してきた。7年前 Urban Forestry LLC に就任し、現在副社長に就任し、都市林のコンサルティングで活躍中である。彼の専門は、i-Tree、形木のリスクアセスメント、疫学診断、量面による樹木の健康、生態学、トレーニングワークショップとコンピュータアプリケーションなどです。

●業績および活動：ISA Test Certification Committee、International Tree Failure Database、New York State Urban and Community Forestry Council、i-Tree Development Team (2007)、Chairman, Shade Tree Committee などご活躍中。

●講演の概要：
 ●第1章、都市樹木の障害・損傷のアセスメント：「F、G、Q、S 以下に下位」とは限らない、障害の発生と予防の発生に各関する。取組の促進と抑制の両面を提示。1 都市で樹木を保全と損傷が起る。我々の任務はより早期に脆弱性を検出すること。それには「change」が必要。一般的診断ではない。個々の状況を分析する。野外での応用診断の必要性があるが、計画段階はその必要は少なくて、持ち前の情報、十分な情報を基に、事前に種別ごとの脆弱性を把握する。

●第2章、都市樹木の維持管理 「i-Tree Street」：アメリカ都市森林学は「i-Tree」及ソフトウェアを開発。最も成功作「i-Tree Streets」それは樹木の経済価値を顕微化する。これは計算ツールで日常維持管理用ではない。地域ごとの都市サービスを用いて都市、利益ある樹木サービスを提供する環境で利用できる。他の多くのエリアで用いても「i-Tree」で収集された報告情報は活用できる。Davey Tree Expert社がサポートする都市林の分析は最適なシステム。



都市樹木とは、緑の効用や経済価値など重要な役割を担い、主要道路の通廊や都市で暮らしやすい環境、公園緑地の緑

一般社団法人設立記念 ボンド博士講演会 記念パーティ 申込書

街路樹診断協会行き

宛先 FAX: 03-3454-5520
A4にコピーし、FAXで申し込みしてください
足りない場合は、コピーしてお使いください

問い合わせ先：（一社）街路樹診断協会事務局
108-0074 東京都港区高輪 3-4-1 8F
TEL & FAX：03-3454-5520
ホームページ：http://www.gishin.com/
※参加費は当日、受付にお支払いください

以下の◆に○をつけてください。

◆ ボンド博士講演会に申込みます（無料）
 ◆ 記念パーティに申込みます（5千円）

勤務先
・ 団体名

部署名

お名前

連絡先
住所
電話番号
FAX 番号



